

# 南米等県人会紹介

# アマゾン栃木県人会

現地名 ASSOCIAÇÃO DE PROVÍNCIA DE  
TOCHIGI DA AMAZÔNIA  
設立年月日 1990年8月7日  
所在地 ブラジル連邦共和国パラ州  
アナニンデウア市  
会 長 峰下アルマンド保  
会員数 52人

(2013年4月末現在)

当県人会は、創立当初から県人会会員同士の交流と相互扶助、母県である栃木県との交流、栃木県からこられた旅行者の支援、協力などを目的としております。しかしながら、広い地域に住んでいる県人が一緒に何かをしようとしてもなかなか思うように行かず、正直に言ってサンパウロの県人会のような立派な活動は出来ておりません。年に一回の総会の日、総会后参加者全員でおいしい昼食をとり、その後みんなでピンゴを楽しんでおります。今年は約85人集まり盛況でした。ほとんどが二世と三世です。また、毎年11月2日のお盆の日にトメアスーの留安寺で県人先亡者の追悼法要を営んでもらっております。県人の先亡者は現在30人です。

昨年、北伯県人会協会という団体がベレンに出来て、毎年9月に日伯協会が行っている「ジャパンウィーク」という行事に他県と一緒に参加してささやかながら栃木県の宣伝を行いました。

母県からの来訪者は最近めっきりと減ってしまいました。数年前に宇都宮大学から半沢典子さんがお見えになり、全県人の家を訪問してくださり、一昨年はなかがわ水遊園の皆さんがベレンからアマゾンの魚を求めてアマゾン川を上っていかれ、半沢さんはトメアスーとベレン、なかがわ水遊園の皆さんはベレンで歓迎会を行って交流を深めることが出来ました。

5月にベレンで定期総会を行い、かねてからお願いしていた役員二世へのバトンタッチが実現しました。若い人たちの発想力と実行力に大いに期待しております。会員同士の交流はともかく、これからの最大の問題は県との交流における言葉の問題です。二世は聞いたり話したりは日本語で出来ますが、読んだり書いたり出来ません。私たちは、県人会の報告や通知をポルトガル語に翻訳しています。



▲サリナス市の海「アタライア」へ旅行



▲アナニンデウアでのアマゾン栃木県人会総会



▲ピンゴの前の会員たちとの食事会



▲パラ州ベレン市で行われた「ジャパンウィーク」に参加